

# 新春のご挨拶



西尾労働基準協会  
会長 二宮英樹

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んでお慶び申し上げます。会員の皆様におかれましては、旧年中は当協会の事業運営にあたり、格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと年当初には、まったく予想もしていなかったロシアによるウクライナへの侵攻が起きました。戦争の犠牲となられたウクライナの方々に対し、心から哀悼の意を表しますとともに、祖国を追われ、避難を余儀なくされているの方々にお見舞いを申し上げます。この戦争を発端にエネルギーが逼迫し、世界中で物価が高騰する事態となっております。日本では円安も加わり生活必需品や電気、ガスなどの価格上昇により家計や企業の収益を直撃しております。

一方コロナ禍の状況は、三年目となり欧米では日常を取り戻しマスク無しでのスポーツ観戦や大人数でのイベントなどがテレビ等で見かけるようになりました。日本でも少しずつ以前の生活に近づけるべく、厚生労働省から「屋外では季節を問わずマスクの着用は原則不要。」といった指針が出される様になりました。

そうした変化により協会の行事につきましても、一昨年までの様に講習会や研修会が中止となることも減って概ね当初計画通りの活動を行うことができました。愛知労働局の「危なさと向き合おうイン愛知」に沿った中核活動、「第5回危険源相互確認会」を開催し、会員各社のRAに対する理解が深まり、浸透させることができました。現在は、製造業を中心に行っているこの活動を全業種へ展開していきたいと考えております。西尾管内の労働災害発生状況は昨年と比較すると増加傾向にあり148件(1~10)発生しております。その中には、死亡災害1件ありましたが、県発注の建設工事で市外の工事業者の方が被災されております。これを除くと重大災害は減少傾向ですが、動力巻き込まれの災害は横ばいの状況です。業種で見ると自動車関係の製造業では減少し、その他業種で増加傾向となっております。こうした状況を鑑み、来期以降、製造業中心にRAの展開組織ができましたので、先行する会員が全業種への展開サポートする活動と「動力巻き込まれ」を重点にRAとその管理について活動を行う予定にしております。

西尾管内で働くすべての方が安心健康に働ける環境づくりを支援する為に、岡崎労働基準監督署西尾支署と共に各種研修会、講演会等の事業を行って参ります。西尾地区には、非会員の事業所がまだまだ多くあります。仲間を増やし、「安全、安心に働ける西尾」を築いていく為に会員の皆様の一層のご協力をお願い致します。最後に会員会社様の益々のご発展、ご繁栄を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。